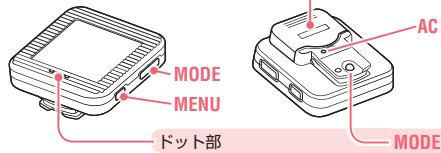


ご使用前に必ず本取扱説明書を最後までお読みください。  
お読みになった後はいつでも大切に保管してください。

自転車への取付けやセットアップについてはホームページ上で動画を交えてわかりやすく解説していますのでご利用ください。(http://www.cateye.com)

この製品は、自転車に取付けて速度や距離を計測するほか、毎日持ち歩き、日常生活の歩数や消費カロリーを測る歩数計として使用することができます。  
まずは「コンピュータの準備」、「自転車への取付け」を行ってください。

## 各部の名称



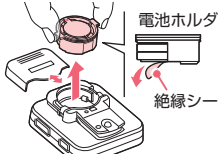
## ブラケット装着時



## コンピュータの準備 初めてご使用になるときや工場出荷時に戻すときは、次の手順でフォーマット操作を行います。

### 1 絶縁シートを抜取る

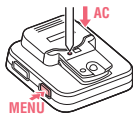
バッテリーカバーを外し、電池ホルダのつまみを持って引抜きます。電池ホルダは、一方のつまみを引上げると浮上がり、電池下の絶縁シートを取除いてください。



- ※ 電池が外れた場合は正しく挿入してください。(電池の交換)
- ※ 電池ホルダは、△マークがコンピュータの前方を向くように挿入します。

### 2 MENU を押しながら AC を押す (フォーマット操作)

画面が 3 秒間全点灯することを確認します。  
※ MENU は AC を離してから 3 秒間押し続けてください。



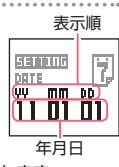
### 3 計測単位 (速度・歩幅・体重) を選択する

1. MODE を押すごとに、点滅する「KM.CM.KG」⇔「MILE.INCH.LB」に切り替えます。
2. 使用したい計測単位を表示して MENU を押します。



### 4 日付を合わせる

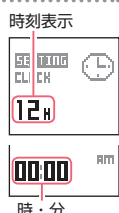
1. MODE を押すごとに、点滅する「YY/MM/DD」(年/月/日)の表示順が変わります。



2. MODE を長押しすると設定する項目が切替り、「11」(年)が点滅します。
3. MODE を押すごとに点滅する数値が増加し、長押しで設定する項目が切替ります。同様に月、日を合わせます。
4. MENU を押すと時刻設定に移ります。

### 5 時刻を合わせる

1. 手順 4 と同様に時刻表示「12H」、「24H」と時・分の数値を設定して MENU を押します。
- ※ 時刻表示 12H 選択時は、「AM」(午前)、「PM」(午後)を選択します。



### 6 タイヤ周長を入力する

自転車のタイヤを 1 回転させたときに進む距離を mm 単位で入力します。(タイヤ周長ガイド)

1. MODE で数値を変更して、長押しすると次の桁に移ります。「千の位」から「千の位」の数値を同様に入力します。
2. MENU を押すと体重入力に移ります。



※ 設定できない値を入力した場合は「ERROR」が表示されます。

### 7 体重を入力する

ご自身の体重を手順 6 で選択した単位 (KG または LB) で入力します。手順 6 と同様に数値を設定して MENU を押します。



### 8 歩幅を入力する

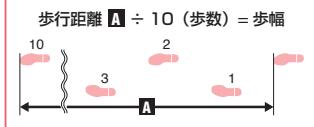
歩いたときの歩幅の長さを選択した単位 (CM または INCH) で入力します。(歩幅の測り方) 手順 8 と同様に数値を設定して MENU を押します。



以上で、コンピュータの準備は完了です。

## 歩幅の測り方

歩幅は、歩く際の足のつま先からもう一方の足のつま先までを指します。スタート地点のつま先に印を付けて 10 歩歩き、A の間隔を測ります。  
※ 歩幅は、歩行速度が速くなると広くなります。測定の際は、普通の速さで歩いてください。  
歩行距離を 10 (歩数) で割ると平均的な歩幅が求められます。



## タイヤ周長ガイド

※ タイヤサイズは通常タイヤ側面に記載されています。

ETRTO	タイヤサイズ (mm)	ETRTO	タイヤサイズ (mm)		
47-203	12x1.75	935	57-559	26x2.125	2070
54-203	12x1.95	940	58-559	26x2.35	2083
40-254	14x1.50	1020	75-559	26x3.00	2170
47-254	14x1.75	1055	28-590	26x1-1/8	1970
40-305	16x1.50	1185	37-590	26x1-3/8	2068
47-305	16x1.75	1195	37-584	26x1-1/2	2100
54-305	16x2.00	1245		650C Tubular	1920
28-349	16x1-1/8	1290		26x1/8	
37-349	16x1-3/8	1300	20-571	650C20C	1938
32-369	17x1-1/4 (369)	1340	23-571	650C25C	1944
40-355	18x1.50	1340	25-571	650C25C	1952
47-355	18x1.75	1350		26x1 (571)	
32-406	20x1.25	1450	40-580	650x38A	2125
35-406	20x1.35	1460	40-584	650x38B	2105
40-406	20x1.50	1490	25-630	27x1 (630)	2145
47-406	20x1.75	1515	28-630	27x1-1/8	2155
50-406	20x1.95	1565	32-630	27x1-1/4	2161
28-451	20x1-1/8	1545	37-630	27x1-3/8	2169
37-451	20x1-3/8	1615	18-622	700x18C	2070
37-501	22x1-3/8	1770	19-622	700x19C	2080
40-501	22x1-1/2	1785	25-622	700x20C	2088
47-507	24x1.75	1890	23-622	700x23C	2096
50-507	24x2.00	1925	25-622	700x25C	2105
54-507	24x2.125	1965	30-622	700x30C	2146
25-520	24x1 (520)	1753	32-622	700x32C	2155
	24x3/4 Tubular	1785		700C Tubular	2130
28-540	24x1-1/8	1795	35-622	700x35C	2168
32-540	24x1-1/4	1905	38-622	700x38C	2180
25-559	26x1 (559)	1913	40-622	700x40C	2200
32-559	26x1.25	1950	42-622	700x42C	2224
37-559	26x1.40	2005	44-622	700x44C	2235
40-559	26x1.75	2023	45-622	700x45C	2242
47-559	26x1.95	2050	47-622	700x47C	2268
50-559	26x1.95	2050	54-622	29x2.1	2288
54-559	26x2.10	2068	60-622	29x2.3	2326

より正確なタイヤ周長 (L) を実現して求める場合、タイヤの空気圧を適正にし、タイヤ接地面にペンキ等印を付けて乗車します。タイヤを 1 回転させ、路面に付いた印の間隔を測ります。



## 自転車への取付け

### 梱包内容



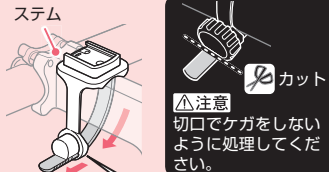
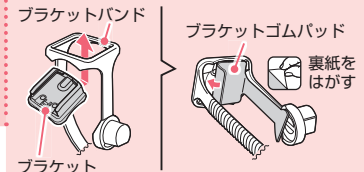
### ブラケットとコンピュータの取付け

#### 取付け条件

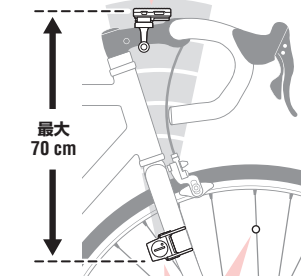
- コンピュータの底面がスピードセンサーを向いている。



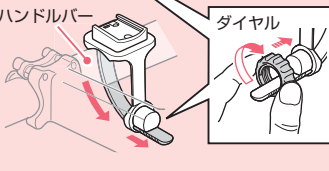
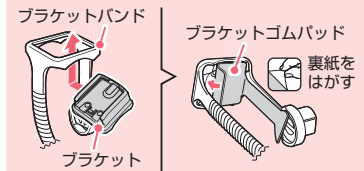
#### ブラケットをステムに取付ける場合



#### コンピュータの着脱



#### ブラケットをハンドルバーに取付ける場合



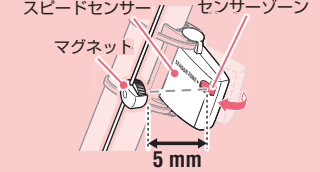
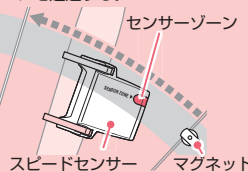
- ※ 受信感度の都合上、コンピュータ底面がスピードセンサーを向くようにブラケットを取付けてください。
- ※ エアロ形状のハンドルバーや太いステムへの取付けにはオプション部品をご使用ください。

### スピードセンサーとマグネットの取付け

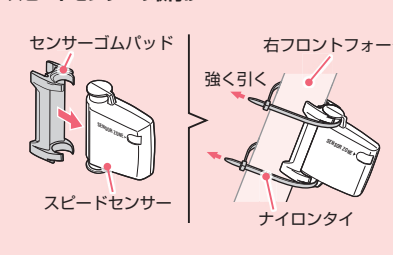
#### 取付け条件

- スピードセンサーからコンピュータまでの距離が必ず 70 cm 以内である。
- マグネットがスピードセンサーのセンサーゾーンを通過する。

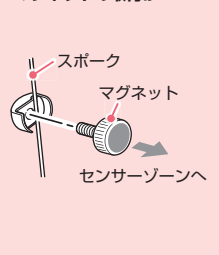
- スピードセンサー表面と、マグネットの間隔が必ず 5 mm 以内である。



#### スピードセンサーの取付け



#### マグネットの取付け



スピードセンサー取付け後、コンピュータをブラケットに装着した状態で前輪を軽く回し、コンピュータに速度が表示されることを確認します。表示されないときは取付け条件を確認の上、マグネットとスピードセンサーの位置関係が正しいか確認してください。

※ 注意 コンピュータは必ずブラケットに装着してください。コンピュータをブラケットに装着しなければ自転車モードに切替らず、速度は表示されません。

## 使い方

### 歩いてみる (歩数計モード計測画面)

#### 1 携帯する

コンピュータをブラケットから取外し、ポケットやカバンに入れます。



※コンピュータ単体のときは、歩行アイコンが点灯し、歩数計モードになります。

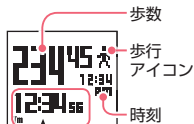
#### 2 計測の開始/停止



6歩以上歩くと歩行を判断して計測が始まります。

#### 歩数計モード

歩数計モードは通常無表示です。ボタンを押すと点灯し、30秒後に消灯します。



#### 選択データ

画面点灯時に **MODE** を押し、画面下段の選択データが切替ります。



### 自転車で走ってみる (自転車モード計測画面)

#### 1 装着する

コンピュータをブラケットに装着します。



※カチッと音がするまで確実に取付けます。

※コンピュータを取付けると、自転車アイコンが点灯し、自動的に自転車モードに切替ります。

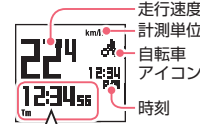
#### 2 計測を開始/停止する



自転車の動きに合わせて計測を開始/停止します。計測中は「km/h」または「mph」が点滅します。

#### 自転車モード

計測時は、下の画面が表示されます。画面が無表示の場合は、いずれかのボタンを押してください。



#### 選択データ

コンピュータ表面のドット部を押すと画面下段の選択データが切替ります。



## 節電機能

本器は指定した時刻になるとスリープに切替ります。(初期設定: 午後8時~午前6時) スリープ中に計測を開始する場合はいずれかのボタンを押してスリープを解除してください。

※指定時刻は生活リズムに合わせて変更できます。(設定を変更する)

※計測中は指定時刻になってもスリープしません。この場合は計測が終了して1時間後にスリープに切替ります。

## データのリセット

コンピュータの時刻が午前0時を過ぎると計測したデータが自動的にリセットされます。

※ **MODE** と **MENU** を長押しすると、現在表示している歩数計または自転車モードの計測値を手動でリセットすることもできます。



## 消費カロリーについて

このコンピュータで計測される消費カロリーは、次の通りです。参考値として確認してください。

自転車モード: 1秒毎に速度から演算した値を累積して算出します。

歩数計モード: 30代の女性をターゲットとしてRMR(エネルギー代謝率)を用いて算出します。

## 計測結果を見る

#### 1 メニュー画面に切替える

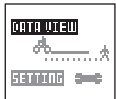
**MENU** を長押ししてメニュー画面に切替えます。

※メニュー画面に入ると計測が一時停止します。



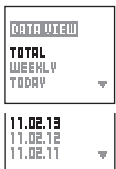
#### 2 DATA VIEW を選択する

「DATA VIEW」点滅中に **MODE** を長押しします。



#### 3 表示期間を選択する

- MODE** を押し、点滅が「TOTAL」(総合計) → 「WEEKLY」(週間) → 「TODAY」(当日) → 過去6日の日付の順に切替ります。
- 見たい期間を点滅させて **MODE** を長押しする。



#### 4 計測結果を見る

**MODE** を押し「距離」→「歩数」→「消費カロリー」→「CO2削減量」の順に切替り表示され、表示期間選択画面(3)に戻ります。

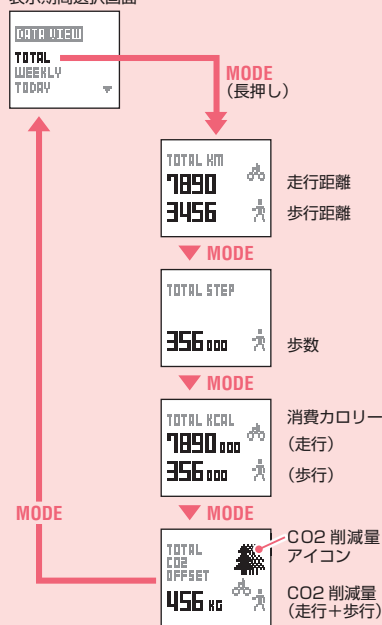
#### 5 計測画面に戻る

**MENU** を押しメニュー画面に戻ります。さらに **MENU** を押し元の計測画面に戻ります。※計測中の場合は、計測が再開されます。

## データビュー

例: TOTAL (総合計) の場合

表示期間選択画面



## CO2削減量について

CO2削減量が増加すると共にCO2削減量アイコンが成長し、数が増えていきます。

### CO2削減量の算出方法

CO2削減量は以下の計算方法で算出します。走行距離(km) × 0.15 = CO2削減量(kg) 係数0.15は、国土交通省ホームページ記載の「ガソリン車1km走行におけるCO2排出量」の数値に2008年度ガソリン乗用車全体の平均値を当てはめて求められています。

## DATA VIEW の表示期間と更新タイミング

データビューは、コンピュータの時刻が午前0時を過ぎた時点で更新され、表示値はリセットされます。(手動でリセットした値も反映されます) 詳しくは次の通りです。

項目	内容
TOTAL 総合計	このコンピュータで計測を始めてからの総合計を確認できます。
WEEKLY 週間	当日を含めた7日分の合計が確認できます。
TODAY 今日	1日あたりの計測データを確認できます。午前0時の更新時に昨日のデータを記憶すると同時に、7日間のデータが消去されます。
過去6日間	

※手動でリセットした場合は、その時点で当日分として反映されます。

## 設定を変更する

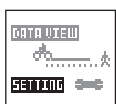
#### 1 メニュー画面に切替える

計測画面から **MENU** を長押ししてメニュー画面に切替えます。



#### 2 SETTING を選択する

- MODE** を押し、点滅が「DATA VIEW」から「SETTING」に切替ります。
- 「SETTING」点滅中に **MODE** を長押しします。



#### 3 変更する項目を選択する

- MODE** を押し、点滅箇所が、手順4の順に切替ります。
- 変更したい項目を点滅させて **MODE** を長押しすると、選択項目の設定画面に切替ります。

#### 4 設定を変更する

設定手順は、以下を参照ください。

項目	参照
1 CLOCK 時刻設定	コンピュータの準備 6
2 DATE 日付設定	コンピュータの準備 4
3 STRIDE 歩幅設定	コンピュータの準備 6
4 WEIGHT 体重設定	コンピュータの準備 7
5 SLEEP スリープ時間設定	
6 WHEEL タイヤ周長設定	コンピュータの準備 6
7 UNIT 計測単位設定	コンピュータの準備 6

※日付設定 (DATE) は、DATA VIEW の記録日より古い日付には変更できません。

#### 5 計測画面に戻る

**MENU** を押し変更内容が確定され、項目選択画面に戻ります。続けて **MENU** を押しメニュー画面、さらに押しと計測画面に戻ります。

## スリープ時間設定

スリープ開始時刻、終了時刻を変更します。 **MODE** を押し、点滅する数字が増加し、長押しすると設定する項目が切替ります。

※開始時刻と終了時刻を同じにするとスリープしません。この場合、電池寿命が短くなります。



## 警告・注意

- コンピュータの使用は周囲の状況に注意した上で行ってください。
- マグネット、センサーおよびブラケットはしっかりと自転車に取付け、緩みがないことを定期的に点検してください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- コンピュータは炎天下に長時間放置しないでください。
- コンピュータは絶対分解しないでください。
- コンピュータは落下させないでください。損傷の原因となります。
- コンピュータはスポンの後ろポケットに入れしないでください。後ろポケットに入れたまま座ると破損する恐れがあります。
- ブラケットに装着して **MODE** を押すときはコンピュータ表面のドット部周辺を押ししてください。他の部分を強く押すと誤作動や損傷の原因となります。
- ブラケットバンドのダイヤルは必ず手で締付けてください。工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- 使用済みの電池は各地域によって定められた方法で処理してください。
- 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

## 歩数計モードについて

次のような環境や歩行では正しく計測できないことがあります。

- バックの中で不規則な動きをしているとき。
- サンダル、ゲタ、そりでの不規則な歩行をしたとき。
- すり足のような歩き方やジョギングをしたとき。
- 混雑した道で歩行が乱れたとき。
- 立ったり、座ったりする動作。
- 階段や急斜面の昇り降り。
- 乗物（自動車、電車など）の乗車。

## ワイヤレスセンサーについて

スピードセンサーの信号は、混信を防ぐため受信距離が最大 70 cm に設計されています。（受信距離はあくまでも目安です）

取扱いには次の点にご注意ください。

- スピードセンサーとコンピュータの間隔が離れすぎると受信できません。
- 受信距離は、気温低下、電池消費でも短くなります。
- コンピュータの底面がスピードセンサー方向を向いていないと受信できません。

次のような環境では干渉を受け、誤作動する場合があります。

- テレビ、パソコン、ラジオ、モーターなどの近くや自動車、鉄道車両内。
- 踏切りや線路沿い、テレビの送信所、レーダー基地など。
- 他のワイヤレス機器や一部のバッテリーライトと併用している場合。

## 電池の交換

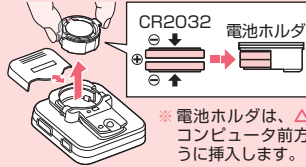
### コンピュータ

▶ アイコンが点灯したら電池の交換時期です。

### △注意

- 電池交換の直前に手でリセット操作を行ってください。リセットを行わずにリスタート操作すると、当日の計測データは保存されません。（☛ **使い方・データのリセット**）
- 新旧あるいは異種の組合せ、また逆方向で挿入しないでください。

- バッテリーカバーを外し、電池ホルダのつまみを持って引抜きます。電池ホルダは、一方のつまみを上げると浮上ります。
- 新しいリチウム電池（CR2032）2枚の（+）側を重ね合わせて電池ホルダに挿入します。



※ 電池ホルダは、△マークがコンピュータ前方を向くように挿入します。

- AC** を押す（リスタート操作）

画面が全点灯します。

- リスタート操作では、計測単位、日付、タイヤ周長、体重、歩幅、データビューの記録データが保持されます。



- 日付を合わせる

手順は「**コンピュータの準備**」④ をご覧ください。

- 日付入力では、データビュー内の最新の記録日が初期表示され、これより古い日付は設定できません。

- 時刻を合わせる

手順は「**コンピュータの準備**」⑤ をご覧ください。

- 画面には、リスタート操作を行った時刻が初期表示されます。
- リスタート操作では、計測単位、日付、タイヤ周長、体重、歩幅、データビューが保持されます。

### スピードセンサー

自転車モードでセンサー信号を受信しにくくなってきたら電池の交換時期です。新しいリチウム電池（CR2032）を（+）側が見えるように挿入します。

- 交換後は、取付け条件をご覧になり、マグネットとの位置関係を確認してください。（☛ **自転車への取付け**）



## 故障かな？と思ったら

お問合せの前に、次のチェック項目をご確認ください。

### ブラケットに装着すると **MODE** が切替らない

ブラケットとコンピュータの間に異物が詰まっていますか？

ブラケットを水で洗い流し正しく動作するよう手入れしてください。

### 走行速度が表示されない

スピードセンサーとマグネットの間隔が離れすぎていませんか？（間隔 5 mm 以内）

マグネットはセンサーゾーンを通過していますか？

マグネット・スピードセンサーの位置を調節し直してください。

コンピュータの取付角度は正しいですか？

コンピュータ底面がスピードセンサーを向くようにしてください。

コンピュータとスピードセンサーの距離が離れすぎていませんか？（70 cm 以内）

スピードセンサーの取付位置を範囲内にしてください。

コンピュータまたはスピードセンサーの電池が消費していませんか？特に冬期は電池の能力が低下します。

新しい電池に交換してください。（☛ **電池の交換**）

### ボタンを押しても表示がでない

コンピュータの電池が消費していませんか？

新しい電池に交換してください。（☛ **電池の交換**）

### 異常な表示が出る

☛ **電池の交換・手順 3～5**（リスタート操作）

## お手入れ

コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤で湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

## 製品仕様

使用電池	コンピュータ リチウム電池（CR2032）（受信部） × 2
	センサー リチウム電池（CR2032）（送信部） × 1
電池寿命	コンピュータ 自転車モードの場合、1日1時間使用で約1年 歩数計モードの場合、1日10000歩の使用で約4.5ヶ月 センサー 約10000km
	※ 気温 20℃でセンサー・コンピュータ間 65 cm に取付けた時の平均値。
制御方式	8-bit 1-chip マイクロコンピュータ（水晶発振器）
表示方式	液晶表示
検知方式	無接触磁気センサー、加速度センサー
送受信距離	70 cm 以内
タイヤ周長	0100 mm ~ 3999 mm
範囲	（初期値：2096 mm）
使用温度	0℃ ~ 40℃（動作保証範囲：範囲外は表示の視認性が悪化します）
寸法・重量	コンピュータ 46 x 49 x 19.5 mm / 37 g センサー 41.5 x 36 x 15 mm / 15 g

※ あらかじめ装着されている電池の寿命は、上記より短い場合があります。

※ 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

## 製品保証について

### 2年間保証：コンピュータのみ（付属品及び電池の消耗は除く）

正常な使用状態で故障した場合は無料修理・交換いたします。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況を明記の上、ご購入日が記述されたレシートまたは領収書を添えて当社宛てに直接お送りください。レシートまたは領収書がない場合、保証期間は製造年月日から起算させていただきます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

### [宛先] 株式会社 キャットアイ

#### カスタマーサービス

〒546-0041 大阪市東住吉区桑津2丁目8番25号  
TEL : (06)6719-6863 ダイヤルイン  
FAX : (06)6719-6033  
ホームページ : <http://www.cateye.com>  
Eメール : [support@cateye.co.jp](mailto:support@cateye.co.jp)

### 標準部品

1602190N



パーツキット

1600280N



ブラケット

1602193



ブラケット

1602196



スピードセンサー

1699691N



ホイールマグネット

1665150



リチウム電池 (CR2032)

### オプション部品

1602770



ブラケットホルダー